



園児ら森の大切さを学ぶ

【秋言】 特定非営利活動法人(NPO法人)「子どもの森づくり推進ネットワーク」(事務局・東京)と連携して森づくりに参加している、高萩市安良川の私立聖徳保育園(秋山正子園長)で二十一日、園児たちが踊りや紙芝居などを通じて、森の大切さを学んだ。写真。



同ネットワークは幼少期の子どもたちの環境学習の一環として、森づくり活動に取り組んでいく。全国の幼稚園・保育園に呼び掛け、県内では

タヌキやハチなど森に生息する生きものたちを踊りで表現したり、紙芝居を見て、森の大切さに触れた。

(原田拓哉)

同保育園が拠点園となった。

同保育園では昨春秋、市内の森林公園から園児たちがドングリを集めてプラントーで育てており、来年、苗を森に植樹する。園児たちはこの日、